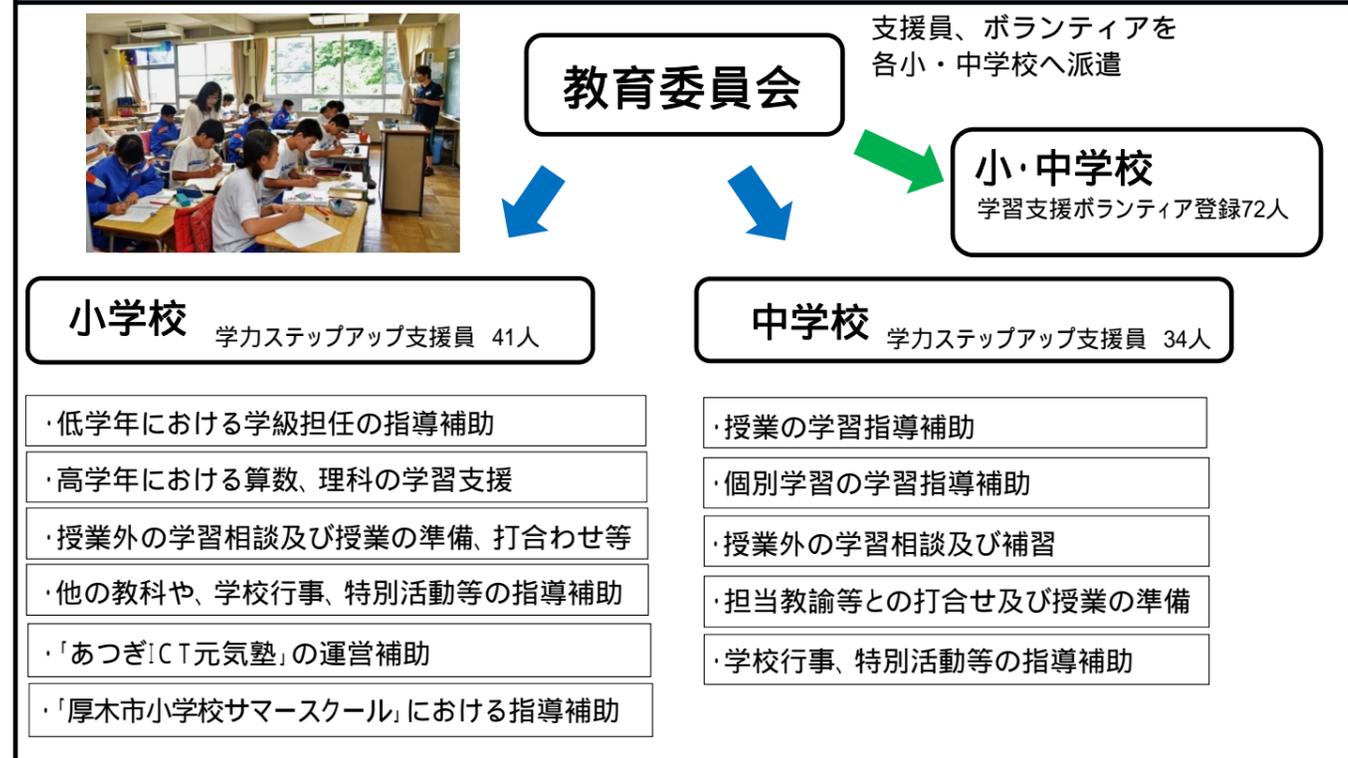


事業概要シート

担当部名	学校教育部	事業名 (子事業名)	学力ステップアップ支援員派遣事業費
担当課名	教育指導課	根拠法令・例 規・要綱等	学力ステップアップ支援員規程
担当係名	教育指導係		学力ステップアップ支援員(学習支援ボランティア)規程
事業開始年度	平成24年度		
関連する事業 (子事業名)	小学校「あつぎ元気塾」実施事業費		
事業概要			
目的	児童・生徒一人一人の実態に応じたきめ細かい学習指導の一層の充実を図るとともに、児童・生徒の「確かな学力」、「学習意欲」の向上を図ります。		
対象	市立各小・中学校児童・生徒		
実施方法	市立全小・中学校に学力ステップアップ支援員や学習支援ボランティアを派遣し、児童・生徒の学習活動の支援を行います。		
事業詳細	<p>学力ステップアップ支援員（配置人数：全23小学校に41人配置、全13中学校に34人配置）</p> <p>【小学校】</p> <p>(1) 低学年における学級担任の指導補助 (2) 高学年における算数、理科の学習支援  (3) 授業外の学習相談及び授業の準備、打合わせ等 (4) 「あつぎICT元気塾」の運営補助  (5) 「厚木市小学校サマースクール」における指導補助  (6) 必要に応じて、他の教科や学校行事、特別活動等の指導補助</p> <p>【中学校】</p> <p>(1) 授業の学習指導補助 (2) 個別学習の学習指導補助 (3) 授業外の学習相談及び補習  (4) 担当教諭等との打合せ及び授業の準備 (5) 学校行事、特別活動等の指導補助</p> <p>学習支援ボランティア...学校行事や授業における体験活動等をサポートしたり、休み時間に子供たちと遊んだりするボランティアを派遣する。大学生等を中心に72人登録(H28年度)</p>		
事業の効果	児童・生徒一人一人に学習状況に応じたきめ細かな支援を行うことで、基礎的・基本的な知識や技能の習得及び学習意欲の向上が図られています。		
事業周知方法 ・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報あつぎ</li> <li>・教育委員会広報紙</li> </ul>		

事業の全体像（フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明）



代表的な事業指標	指標名	児童・生徒の学習意欲向上の割合				
	指標の説明	生徒アンケートの学習意欲に関する設問から、「支援員がいることで、途中であきらめず、学習問題を解決しようという気持ちをもつことができる」と答えた生徒の割合				
	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	指標備考
	目標	82.0	82.0	82.0	82.0	アンケート対象...市立各中学校1学年のうち1学級を抽出し実施(回答人数 428人)
実績	79.0	79.5	79.0			
達成率	96.3%	97.0%	96.3%			

事業のコスト				
コスト	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算見込み)	平成29年度(予算)
	事業費	69,005	69,852	73,065
	人件費	4,379	3,961	
	経費総額	73,384	73,813	

人件費内訳	平成27年度人件費内訳(単位:千円)				平成28年度人件費内訳(単位:千円)					
	行政職1	@ 8,421 × 0.52人	=	4,379	行政職1	@ 8,610 × 0.46人	=	3,961		
	行政職2	@ 8,304 ×	人	=	0	行政職2	@ 8,472 ×	人	=	0
	消防職	@ 8,672 ×	人	=	0	消防職	@ 8,719 ×	人	=	0
	再任用	@ 3,514 ×	人	=	0	再任用	@ 3,716 ×	人	=	0
	臨時職員	@ 1,186 ×	人	=	0	臨時職員	@ 1,197 ×	人	=	0
	その他	×	人	=	0	その他	×	人	=	0

事業費及び財源内訳(千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他
	H27(決算)	69,005	66,529	2,171	0	305
	H28(決算見込み)	69,852	68,141	1,471	0	240
	H29(予算)	73,065	68,643	4,135	0	287

事業費内訳	【平成29年度予算の内訳】
	<p>共済費 791千円(臨時的任用職員雇用保険料 791千円)</p> <p>賃金 71,883千円(支援員賃金66,479千円、時間外勤務手当1,289千円、通勤手当4,115千円)</p> <p>報償費 250千円(学習支援ボランティア謝礼 250千円)</p> <p>旅費 141千円(支援員辞令交付・研修・校外学習随行旅費 141千円)</p> <p>*平成29年度国県支出金の4,135千円は「理科教育設備整備費等補助金(補助率1/3)」になります。平成28年度国庫支出金の予算額は4,413千円(決算額は1,471千円)であり、平成28年度と29年度では、予算額としてはほぼ同額となっています。</p>

市民要望社会的要請課題	<p>子供たちが「確かな学力」を身に付け、自信と意欲を持って学習に取り組むことや、楽しく安心して毎日学校に通えることは、保護者はもちろん、地域全体の願いであると捉えています。</p> <p>予測が難しい社会の変化に対応できるよう、学習活動を通して課題に主体的に向き合い、人と関わりながら、粘り強く解決に努力する子供の育成が求められていると考えています。</p> <p>児童・生徒一人一人の学習状況を把握し、実態に応じた学習指導を充実させていくことが大切であると考えています。</p>
-------------	---

上記課題等への対応や見直しの方向性	児童・生徒一人一人の実態に応じた学習指導の充実に加え、学習を苦手とする児童・生徒の個別支援ができるよう、学力ステップアップ支援員の効果的な配置や活用を更に進めます。
-------------------	--

見直しの有無	有
直近3年以内の事業見直しの有無とその内容	<p>小学校では、平成27年度から学力ステップアップ支援員の職務にサマースクールの指導補助が加わりました。また、平成29年度からは「あつぎICT元気塾」において、タブレットを活用した学習の補助的な役割を担っていただきます。中学校では、平成28年度までは、中学1年生の数学・英語を中心に学習指導の補助等を行ってまいりましたが、平成29年度からは、教科、学年を限定せず、より多くの場面において、課題のある生徒への学習指導の補助を行います。</p>

近隣自治体等の状況	海老名市、綾瀬市、大和市などでも、学習支援員やボランティアの派遣を行っています。
-----------	--

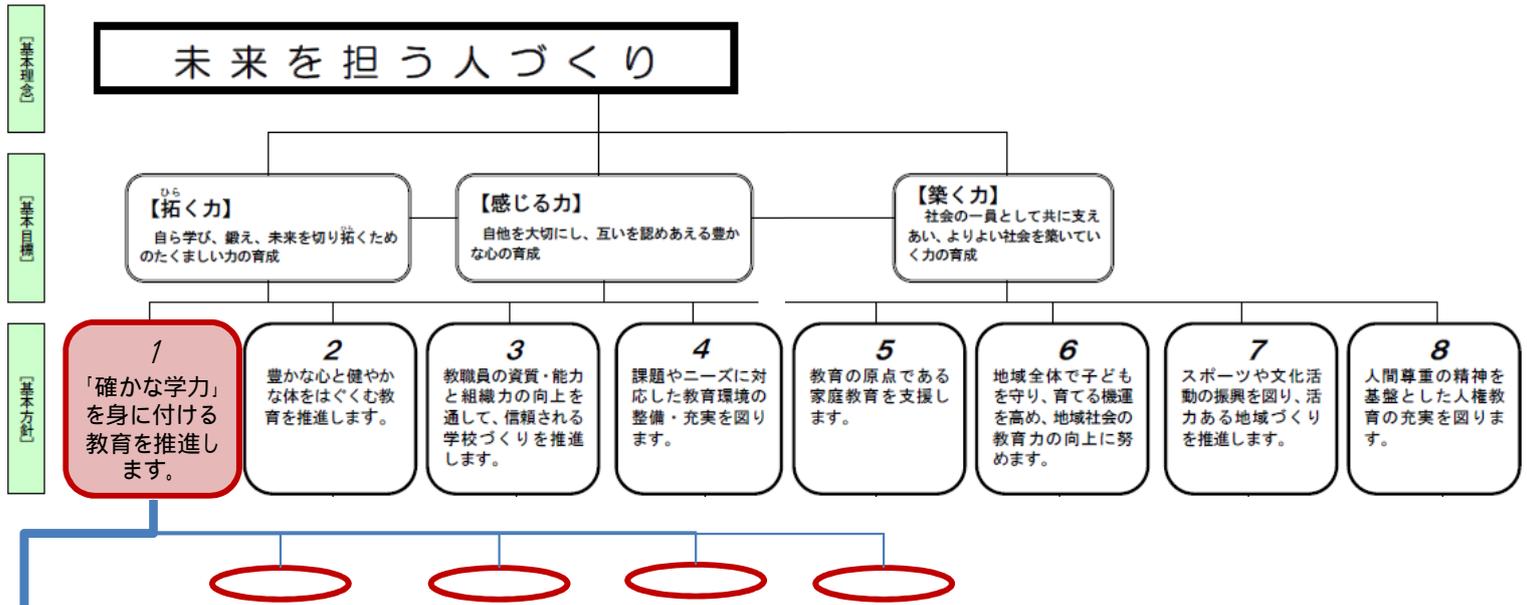
【事業番号1】学力ステップアップ支援員派遣事業費(事前確認・回答)

委員事前確認事項	
1	目標値はどのような根拠で設定しているのか。また、アンケートは小学生には実施しないのか。
2	支援員の適正やスキルの審査はどのように行っているのか。審査は一度きりでなく、定期的に行っているのか。
3	目的が学力の向上であれば、学力の向上を図る指標を設けるべきではないか。
4	ステップアップ支援員は、必要な人数は確保できているのか。
5	どのような課題を解決するために、この事業を始めたのか。

担当課事前回答
<p>将来的には100%の割合を目指していますが、現状としては、過去の実績値を踏まえ、平成29年度時点で82%まで向上する目標値を設定しております。(厚木市総合計画「あつぎ元気プラン」第3期実施計画において設定している数値になります。)</p> <p>また、小学生にもアンケートを行っていますが、主に支援員が関わっている小学校低学年の児童は、まだ質問の意味がしっかりとれないこともあるので参考にとどめていません。</p>
<p>年度末に、支援員本人の自己評価と、校長の所見を基に教育委員会が必要に応じて面談を実施し、総合的に評価を行うことで、次年度の採用を決定しています。</p>
<p>学力には「基本的な知識」「思考・判断・表現」「意欲」の3つの測るべき力があります。知識等については、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施される全国学力学習状況調査の結果で達成度を測ることができますので、残る「意欲」について、「児童・生徒の学習意欲向上の割合」を代表的な事業指標に設定し、児童・生徒へのアンケートを基に、支援員がいることで学習に対する意欲が向上しているかを把握しています。</p>
<p>支援員が配置されることで、個々の児童・生徒の学習の充実が図られると同時に、活動場面によっては、授業などにおいて、より高いレベルでの安全確保ができることもあります。</p> <p>支援員によるきめ細かな対応を必要とする児童・生徒や場面は増えており、児童・生徒が充実した学校生活を送る上で、個々に応じた支援が更に求められています。</p> <p>現在は75人の支援員を配置し、効果的な配置・活用を行って対応しているところです。</p>
<p>本市の児童・生徒は、全国学力学習状況調査や学校での生活アンケートから、自分で学習計画を立てることや、自学自習に取り組むことなど、主体的に学習に関わるのが苦手であるということが分かりました。</p> <p>本事業は、児童・生徒が授業内容などで分からないことを傍らで丁寧に教えてもらえる安心感や、きめ細かな支援を得ることで、自信を持って学習に向かえるよう環境を整えるものです。</p> <p>知識・理解の習得はもちろんですが、学ぶ意欲を向上させることで、学力の向上につなげたいと考えています。</p>

# 厚木市教育振興基本計画における 「学力ステップアップ支援派遣事業」の位置付けについて

## 2 厚木市教育振興基本計画の構成図



学習指導の見直しなどにより、学力のステップアップを図ります。

### 【小学校「あつぎ元気塾」実施事業費】

放課後の教室等を利用し、市立小学校3年生の児童に国語及び算数の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るため、タブレットを活用した個別の学習支援を行う「あつぎICT元気塾」を実施します。

### 【学力ステップアップ支援員派遣事業費】

基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を通して、学ぶ意欲を育てるとともに、学力の向上を図るため、市立小・中学校にそれぞれ学力ステップアップ支援員を派遣します。また、個別の学習支援を行う「サマースクール」等を実施します。

### 【外国語指導助手配置事業費】

国際理解の素地を培い、コミュニケーション活動を中心とした英語教育の推進を図るため、市立小・中学校に英語を母語とする外国語指導助手を配置します。

### 【SEL教育基金事業費】

厚木市SEL教育基金条例に基づき、確かな学力を身に着けた心豊かで健康な児童及び生徒を育成するために、児童・生徒の表彰をはじめ、厚木こども科学賞、理科・科学教育推進のための事業等を実施します。